

文化祭を

# 広報こすど

集まる時は

新生活入選標語

は良く存じております。そこで私にとつて意見としては、趣味の催しを企画することなど、その道を進むの道の向上に役立ち、年同じに計画でも年々進歩の跡が楽しみで參観者も満足が得られ、年々盛んであるのではないかと思ふ。

次に天候ですが、私は記憶には文化の日に雨で降ったことがないので、こう申しますと御気づかになる方もあるかと思いますが、それすることによって、毎年の運動会で不愉快なことになります。

文化の日というと香り高い黄菊、白菊を連想されることは多いが、毎年おなじようなふうに苦労することもなかなかないかと思われる。何となくゆかしさをえる。

上回る。これではいられない。兼好でも「野分のあこそをかしけれ」とうまい。二部授業はその二に始まつた。二週間後には三年二部を解消した。更に三週間後の今日

くら  
した  
のひさかりの生徒の  
の低下がおそろし  
方策が立たない。用  
設備の関係で時た  
校の体育館を借りて  
運動ぐらいして  
ない。  
⑤ 理科の実験指導方  
式をもちこんども  
はい

の体位で自分の紫米を橐にい。が、  
ところ、數十人の道具や  
があったそうですが、  
さして、この一き  
はしための、一  
まみれた、わらび  
は小須戸へ逃げ帰  
とがめを受けては、  
小さくなつて、いま  
事は、  
で、放逐室で

東した  
希望者  
にくんだりして  
だ、といつてし  
れ今まであるが  
れでもないかぎ  
がそうう外れ  
するという事は  
するので、よく考  
いたにしてみれば  
したが  
大変と  
してねや」  
てねや」と  
いふに  
販地に  
に参加  
たがんでしてお  
るが、といつてし  
れ今まであるが  
れでもないかぎ  
がそうう外れ  
するという事は  
するので、よく考  
いたにしてみれば  
したが  
大変と  
してねや」  
てねや」と  
いふに

こつたり  
も当たり前  
まえばそ  
り、気が  
のことを  
まず無い  
えたり問  
は、あた

文化祭は、現在までに小須戸橋がこれだけでき、何年後に完成する。道路はこんな型で作られているといったように、各団体で知つてもらいたい、知りたい、ということが並べられており、それが、文化祭がより変化に富み充実したものになると思ふ。

(T生)

私はいつも考えていることは、文化体育祭とでも銘うつて、文化祭の日に決められた時期的に町内を一丸となつて盛大に開催されると考えます。それに町民運動会ですべてが年々さびれてゆき、また元の部落ごとの催しに戻つたうですが、それは時期の選び方、また近頃流行の言葉でいうなれば「レジャーライフ」を楽しむのを温泉行きや、海や山などとシャレこむ人達が多いななどもあらましょ。

（K氏）

生 活 の 町勢を知らせる

文化祭も十五・六回になると、なかなか目新しの企画でやるといふことは困難となる。特に小須戸町のような人口一万余位の町や、また経費も極度に切りつめられたところでは、当然行きづまるような計画を持ちたいたいものである。

（K氏）

生 活 の 町勢を知らせる

文化祭は年に開催して年貢よりの生産額が支拂うた天災か何か」という意見があり、各方面の方々に御意見をおたずねしてみた。これは一年以上の計画を立てて、関係ボスター等も作らなければならぬから、苦労も多くて報いられる点もすくないかも知れないが、一万人の中の一割の人でも、これに興味をもち、五分の人がこれにより町の進展を知る

（T生）

この意味から文化祭の主體、呼びかけは現在の公館でいいと思うが、協力態勢の面で発展的だとか、さびれてきたという

中学校の二部授業始末記  
台風の爪跡

お天道と半分の十二教室を倒壊した前まで追いつめてしまつた。  
様をうらんでもし  
ようなことだ  
が、全く根瓦の修理にとめた直後だつただけに、あいだつた口があさがらない。四百坪のものだ。坪の後棟が使用不可能で、突如として製米し、体育館の屋根六十坪がめぐられ、倉庫二棟が次ぎに倒壊した第二章。

整備の係が乏しい予算で掲示板を整えたり、屋根瓦の修理にとめた直後だつただけに、あいだつた口があさがらない。四百坪のものだ。坪の後棟が使用不可能で、突如として製米し、体育館の屋根六十坪がめぐられ、倉庫二棟が次ぎに倒壊した第二章。



小須戸風土記

和  
大  
治

十万石の格

式  
のため工事中の人河津  
水も中止した位です。  
小須戸郷、白根郷は特

政に 分かれていたらしい。かがみ込の上へさじですくつていふと目に入った。

。なべまた、ぬすんでいたにち  
んで、がいない困ったものだ  
るのが、なんて話をひろめられな  
りしたら、仮にぬすんで、  
なかつた場合でも、その

をのじんじゅ

早合占



しかし、どなり込む方はまだよい。その時、よくやわけを説明すれば、すぐ理解されてしまつてしまふからである。

## 卷之二

学校二十四教室のちょうどの損傷だけでも三百枚を  
戸台風はとばされている。ガラス  
突如として襲来し、体育館の屋根六十坪がめ  
た第二室、くられ、倉庫二棟が吹き  
て倒壊され、校舎の屋根六十坪がめ  
が、全く根瓦の修理につとめた直  
後だつただけに、あいた口があさがらない。四百  
人で、坪の後棟が使用不可能のものだ。  
ようのな  
いことだ  
が、金く  
ひどい日  
ひどい日  
にあつた  
ものだ。  
整備の係が乏しい予算  
で掲示板を整えたり、屋  
根瓦の修理につとめた直  
後だつただけに、あいた  
口があさがらない。四百  
人で、坪の後棟が使用不可能のものだ。  
お天道と半分の十二教室を倒壊され  
様をうら寸前まで追いつめてしまつた。

A black and white photograph capturing a group of approximately ten individuals, possibly students, gathered around a long table in what appears to be a classroom or laboratory setting. The individuals are dressed in light-colored clothing, some with sleeves rolled up, suggesting a practical or scientific environment. The table is covered with various items, including what look like pieces of equipment, tools, and papers, indicating an active workspace. In the background, large windows with multiple panes are visible, letting in natural light. The overall atmosphere is one of focused activity and collaboration.

